

不確実な日常を切り拓け！ ART & TECHは止まらない！

## MAT 2021が開催決定



2021.4.27 TUE – 5.23 SUN

#mediaambitiontokyo #MAT2021

— Artist —

落合陽一 / 水口哲也 / 脇田 玲 / WOW  
西條鉄太郎 / シナスタジオラボ feat. evala  
藤井直敬 / 南澤孝太 / MES / OPEN MEALS  
市原えつこ × 渡井大己 / 小野澤 峻  
会田寅次郎 / Mayuka Otsuki and more...

### 未来を創造する技術とアイデアが結合する、都市を舞台にしたテクノロジーアートの祭典

今年で9回目を迎えるMedia Ambition Tokyo [MAT] は、最先端のテクノロジーカルチャーを実験的なアプローチで都市実装するリアルショーケースです。2021年は、感染拡大防止に十分な配慮を行いながら、リアルとオンラインを組み合わせたハイブリッドな展覧会を実施。六本木を中心に、最先端のアートや映像、音楽、パフォーマンス、トークショーなどが集結します。世界で活躍するアーティスト、さまざまな分野のイノベーターや企業とともに、進化していくテクノロジーがアートでつながり、拡大し、増殖していく、MATはこれらを含むテクノロジーアートの祭典を目指していきます。

【プレスマテリアルのダウンロード先（昨年の様子はこちらから）】

<https://publicity.gettyimages.com/mat-commission/media-ambition-tokyo-2020>

【取材及び本件に関するお問い合わせ先】

HiRAO INC 担当：御船 [mifune@hirao-inc.com](mailto:mifune@hirao-inc.com)、鈴木 [suzuki@hirao-inc.com](mailto:suzuki@hirao-inc.com) / Tel 03-5771-8808 / Fax 03-5410-8858

## Tokyo City View (52F, Roppongi Hills Mori Tower) [六本木]

日程：2021年4月27日(火) - 5月23日(日) 10:00 - 22:00 (最終入館21:30)

会場：東京シティビュー (六本木ヒルズ森タワー52階) ※東京シティビューへの入場料でご覧いただけます



Akira Arai (Necesa & Partners Inc.)

作家：シナスタジアラボ feat. evala (See by Your Ears)

作品：シナスタジアX1 - 2.44 <Hazo>

共感覚(シナスタジア)や感覚複合体験の実験、研究、アーキテクチャーを追求するために設立されたアライアンス型のラボ。2019年、Enhanceが2つのスピーカー+44個の振動子を搭載した、音と触覚と光の共感覚体験装置「シナスタジアX1-2.44」を開発。同年のMAT2019にて、サウンドアーティストevalaとのコラボレーションによる「シナスタジアX1-2.44 feat. evala(See by Your Ears)」を共感覚アート作品として出展。MAT2021では、再びevala(See by Your Ears)を招聘し、新たな共感覚体験空間を提起する。

Creative Direction: 水口 哲也 (Enhance) / Audio & Haptic Compose: evala (See by Your Ears) / Product Design: 清水 啓太郎 (Flowplateaux) / Produce: 佐藤 文彦 (Flowplateaux) / Technical Management & Haptic Environment Design: 花光 宜尚 (Enhance) / 3D Haptic Design Software Development: 磯部 宏太 (Enhance) / Lighting Design & System Development: 田井 秀昭, 元木 龍也 (Rhizomatiks) / Technical Support: 西本 桃子, 毛利 恭平 (Rhizomatiks), 神山 洋一 (Cidre Interaction Design) / Audio Engineering Support: 久保 二郎 (See by Your Ears) / Audio Production Management: 長村 圭乃 (See by Your Ears) / Product Structure Design: 吉原 慎助 (Demold) / Product Advisory: 佐藤 栄作 (Demold) / Product Support: 辰巳 正彰, 清瀬 光広 (FIELD CLUB), 清水 隆行 (Demold), 八代 直紀 / Space Design & Construction: 博展

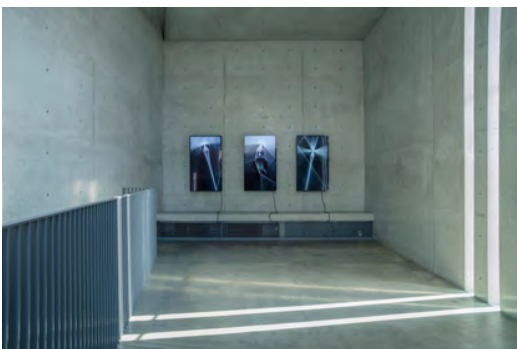


Photo by Takahiro Tashima

作家：脇田 玲

作品：Holiness

本作は「神聖さ」を感じさせる世界中の建築に着目し、そこでの光の反射や屈折のパターンの網羅的な収集と再構築を目指して進められている現在進行形のプロジェクトである。人が神聖さを感じるのには、宗教の儀式や様式に対してではなく、記号としての神に対してでもなく、光の反射や屈折、それらの集積として生まれる集光模様（コースティクス）が形成する「ある種の光のパターンの勾配」に対してではなかろうか、という仮説を私は立てた。

Visualization : Akira Wakita  
Sound : Hananosuke Takimoto  
Software : Yuki Mizuno

【プレスマテリアルのダウンロード先 (昨年の様子はこちらから)】

<https://publicity.gettyimages.com/mat-commission/media-ambition-tokyo-2020>

【取材及び本件に関するお問い合わせ先】

HiRAO INC 担当：御船 [mifune@hirao-inc.com](mailto:mifune@hirao-inc.com)、鈴木 [suzuki@hirao-inc.com](mailto:suzuki@hirao-inc.com) / Tel 03-5771-8808 / Fax 03-5410-8858



黒羽政士

作家：市原えつこ×渡井大己

作品：仮想通貨奉納祭・サーバー神輿

「神事のアップデート」をテーマに、世界中から仮想通貨を集めてリアルタイムに神輿に反映させ、集まった仮想通貨は「土地の豊穡」のために再分配する都市の新たな祝祭や伝承をつくるプロジェクト。世界中から仮想通貨を奉納できるシステムを搭載した「サーバー神輿」により、土地に祝福をもたらす儀式を行う。着金に反応して神輿に搭載された大量のLEDファンが回転しながらギラギラと発光し、人工知能が音声合成した祈りの言葉が爆音で鳴り響き、神輿の担ぎ手のバイブスを上げる「ワッシュイ・セレブレーション機能」が発動する。MATではArtStickerバージョンとして登場。Stickerでの投げ銭に応じてインタラクションし、バーチャル空間にも影響を及ぼすハイブリッド型神輿のプロトタイプを実験的に発表する。

企画・運営：市原えつこ／神輿テクニカルディレクション、ソフトウェア開発、ハードウェアデザイン・開発：渡井大己／神輿ソフトウェア開発：稲垣淳／神輿フレーム設計・制作：川島拓郎／祭り囃子：NICOS ORCHEST-LAB／発酵大臣：小倉ヒラク／天狗アニマトロニクス造形・開発：中塚久和巨／天狗ロボットモーション開発：渡部知香／天狗ロボットモデル：藤井直敏／ロゴデザイン：畑ユリエ／写真撮影：黒羽政士／映像撮影・編集：野本ピキトル／企画リサーチ・PR協力：原田優輝（Conversations）／管理サポート：早川由紀恵／協賛：デジタルハリウッド大学大学院、株式会社インクワイア／助成：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、小笠原敏晶記念財団／支援：Readyforクラウドファンディングご支援者の皆様／技術協力：株式会社わたしは／会場・運営協力：川島商店街



作家：小野澤 峻

作品：演ずる造形

“制御できない現象との共演”をテーマに制作しました。パフォーマンスの終盤、6つの球は衝突を繰り返しながらも、絡まることなく交わり続けます。緊急事態宣言の最中、新型コロナウイルスのことを無視して制作することはできませんでした。コントロールできないものとどう向き合えばいいのか、コロナを通じて私が作品で示せる態度とは何なのか。様々な試行錯誤を経て、衝突することを受け入れながら、制御不能なものと共演するパフォーマンスへと発展していきました。衝突した後に元の軌道へと緩やかに戻り、そしてまた新たな衝突が起こる。その連続が持続するように調整を繰り返しました。タイトル「演ずる造形」には、この球の動きから、様々な物事へと想像が繋がるようにと思いを込めています。このパフォーマンスは何を演じているのか。そのような視点でご覧頂けたら嬉しいです。

## 他、計20作品展示予定!!

【プレスマテリアルのダウンロード先（昨年の様子はこちらから）】

<https://publicity.gettyimages.com/mat-commission/media-ambition-tokyo-2020>

【取材及び本件に関するお問い合わせ先】

HIRAO INC 担当：御船 [mifune@hirao-inc.com](mailto:mifune@hirao-inc.com)、鈴木 [suzuki@hirao-inc.com](mailto:suzuki@hirao-inc.com) / Tel 03-5771-8808 / Fax 03-5410-8858

## Media Ambition Tokyo Gallery Daikanyama [代官山]

日程：2021年3月12日(金) – 5月30日(日) 8:00 – 24:00

場所：東京都目黒区青葉台2-3-1 小杉ビル青葉台（「Enhance」オフィス1階）



Creative Director : Kosuke Oho / Art Director : Nakazi Takuma / Producer : Fumihito Anzai / Project Manager : Ryoma Yamashita / Lighting Director : Daisuke Yano (Tokyo Lighting Design) / Cooperation : HAKUTEN

作家：WOW

作品：wind form

非常に薄く軽い布を用い、その特性をそのまま形にした風のインスタレーション。通り沿いのウィンドウディスプレイに5台のサーキュレーターを配置し、個々にサーキュレーターを制御することで、布が宙を舞い立体的な形と動きを形成。風が織りなす形と動きは、シンプルで美しく、自然現象のような永続性を有し、アニメーションを作り出す。

### 開催概要

[日時] 2021年4月27日(火) – 5月23日(日)

※開催期間は会場によって異なります

※本展覧会に関する情報は予告なく変更になる場合があります

※営業時間などの予定が変更になる場合もあります。最新情報はウェブサイトをご確認ください

[会場] 東京シティビュー（六本木ヒルズ森タワー52階） [六本木]

[サテライト会場] Media Ambition Tokyo Gallery 代官山 [代官山] and more...

[新型コロナウイルス感染症対策]

- ・入場前に検温、手指消毒、マスクの着用を必ずお願いしております。
  - ・37.5° C以上の発熱が確認された方は、入館をお断りさせていただきます。
  - ・当館の入館・利用等に関する諸規則の遵守をお願いいたします。
- 詳細はこちら <https://tcv.roppongihills.com/jp/news/2020/06/4052/>

詳細情報は随時更新中！

WEB <http://www.mediaambitiontokyo.jp>

Facebook <http://www.facebook.com/mediaambitiontokyo>

Instagram [@mediaambitiontokyo](https://www.instagram.com/mediaambitiontokyo)

Organizer：一般社団法人 Media Ambition Tokyo

(JTQ Inc. / Panoramatiks / Mori Building Co., Ltd. / Enhance Incorporated / Mistletoe, Inc.)

Media Partners：Art Sticker / WIRED JAPAN

PR Partners：HiRAO INC / Getty Images Japan K.K.

Special Cooperation：NEWVIEW AWARD / 3Dファントム

【プレスマテリアルのダウンロード先（昨年の様子はこちらから）】

<https://publicity.gettyimages.com/mat-commission/media-ambition-tokyo-2020>

【取材及び本件に関するお問い合わせ先】

HiRAO INC 担当：御船 [mifune@hirao-inc.com](mailto:mifune@hirao-inc.com)、鈴木 [suzuki@hirao-inc.com](mailto:suzuki@hirao-inc.com) / Tel 03-5771-8808 / Fax 03-5410-8858